

20171001 「兄弟に売られるヨセフ」

目標：ヨセフの幼少期における父の取り扱いや夢、兄らの反応を知る事を通し、神のご計画を知った者は子供から大人へ成長しなければならないことを知る。

聖書箇所：創世記 37：1-36 時間：10分

暗誦聖句：「主がヨセフと共におられたので、彼は幸運な者となり、その主人エジプト人の家におった」（創世記 39 章 2 節）

道具：ホワイトボード、ペン

対象者：中3×1 中1×1 小6×1 小5×3 小3×1 小2×1 小1×2 幼稚園児×2

留意点：前回のヤコブから、聖書がヨセフを焦点化する。唐突さがないよう、ヨセフとヤコブとの関係を明示してから内容に入るようにする。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	前回のヤコブの息子に、ヨセフという子供がおりました。		老境に入ってからの子であること、複数妻がいた中で最愛の妻の遺児であること等を挙げ、ヨセフがひいきされる客観的理由を推察する。
課題探究	6分	みんな、自分がそうされたら、どうですか。	・うれしい。	ヨセフ自身の気持ちの推察。
		では、他の誰かがそうされたら、どう思うでしょう。	・いやだ。	同じ状況を客観的に見るよう促す。視点を変える大切さを掴ませたい。
まとめ	2分	お兄さん達は、ヨセフのことで面白くありませんでした。		次に続く、兄の嫉妬へ言及するきっかけとする。
		中でもお兄さん達を怒らせたのは、ヨセフが見た夢でした。		晴れ着の件を挙げ、面白くない事の事例とする。
		どういう意味だと思いますか。	・ヨセフがみんなに敬われる ・解らない	二つの夢を説明する。
		あなただったら、そういう夢を見たらどうしますか。	・みんなに言う。 ・黙っている。 ・お父さんだけに言う。	神がヨセフに、これから起きることをあらかじめ伝えたという側面は話しておきたい。実際に実現するし、巫俺をあらかじめ伝えることは、これまでも神はそうされてきたのである。
		お兄さん達は怒って、ヨセフが一人だけで自分たちの所に来たとき、彼を殺そうとしました。		兄に言ったら兄たちはどう思うかを推察させ、神様のビジョンを知った者は、それを軽々しく話してはいけない責任を帯びる事を理解させたい。
		空井戸に落として、これからのことを相談しているとき、ミデヤン人の商人が通りかかったので、兄たちは弟を売ってしまいました。		晴れ着を着たヨセフが何も考えずに兄たちの処へ来た情景を思い浮かばせたい。
		この兄たちの気持ちがわかるという人はどれくらいいますか。		長兄ルベンは助けようとした事は、余裕があれば触れる。
		ヨセフはどうしたら良かったと思いますか。		挙手させてみる。
		命が守られたのは、神様の恵みと言って良いでしょう。さて、神様は、このぼんぼんのヨセフに、どう恵みを施されるのでしょうか。		いろいろ挙げさせてみる。それを考える事自体に、意味があると思う。
		暗誦聖句		190号のテーマ「神の恵みに生かされる」からの反映。余韻を持って次回に繋げたい。